

## 2025 年度 応用地形判読士資格検定試験（通算第 13 回）

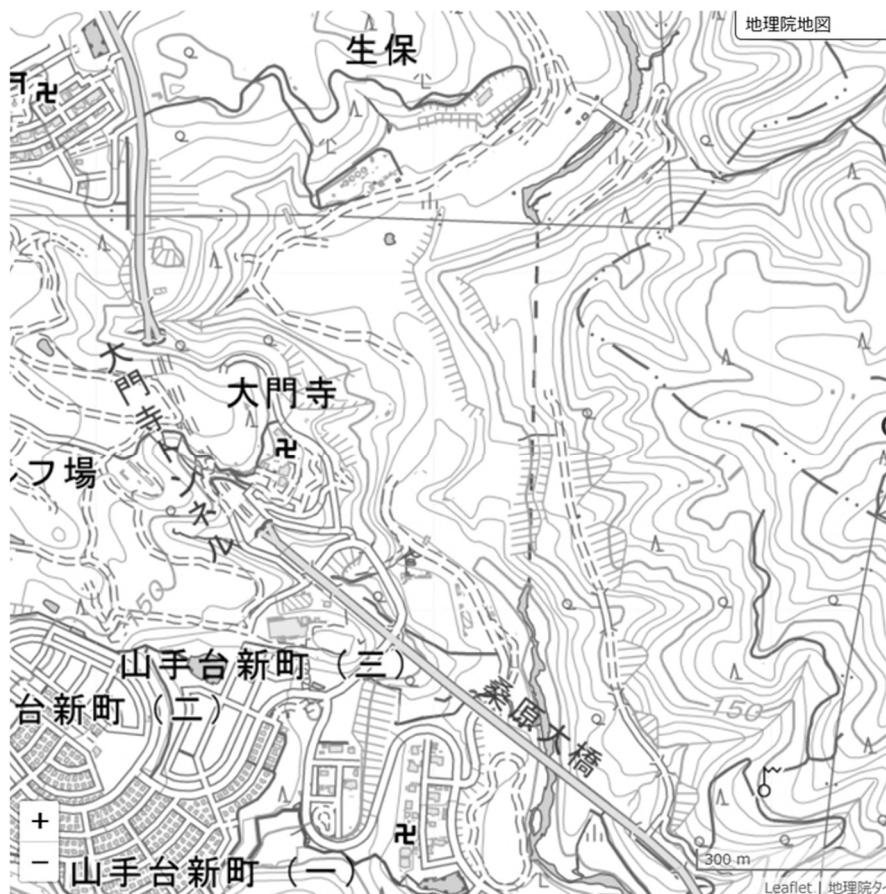
### 〔学科試験問題〕

#### 学科試験の注意事項

- (1) 学科試験の実施時間は、9 時 30 分から 11 時 00 分までの 1 時間 30 分とする。
  - (2) 試験開始後 1 時間は、退場を認めない。
  - (3) 机上には、筆記用具など（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、定規、三角スケール、鉛筆削り、拡大鏡）、受験票、試験問題用紙、答案用紙、時計以外のものは置かないこと。
  - (4) 通信機器類および電子機器類（ウェアラブル端末（例えばスマートウォッチ）などを含む）の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。違反者には、退出を命じる場合がある。
  - (5) 試験の開始にあたり、試験問題の欠落や印刷に不鮮明な箇所がないことを確認すること。
  - (6) 答案用紙には、受験番号と氏名および解答のみを記入すること。受験番号が未記入であったり間違えている答案は、採点から除外する。
  - (7) 学科試験・1 と学科試験・2 の解答は、凡例にしたがい、マークからはみださないよう丁寧に塗りつぶすこと。訂正する際は、きれいに消すこと。  
塗りつぶしが不適切であったりきれいに消されていないときは、採点されない場合がある。
  - (8) 学科試験・3 の解答は、枠線からはみださないように、楷書で読みやすく記入すること。
  - (9) 試験問題には、国土地理院発行の地形図などを使用している。地形図などは、注記がある場合を除いて、上を北としている。
  - (10) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
  - (11) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。ただし、答案用紙は机の上に残すこと。
- ◆ **発熱など、体調に異常があるときは、直ちに監督員に申し出ること。状況に応じ、一旦退席、または試験の辞退をお願いすることがある。**

## «学科試験-1»

問 1. 地形図の中の河川を南北に結ぶ水路トンネルの建設目的として最も適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。



- (1) 宅地造成に伴う河川トンネル
- (2) ダム建設のための仮設転流路
- (3) 緑地公園建設のための仮設河川トンネル
- (4) 洪水対策のための導水トンネル

問 2. 地すべりの一般的な特徴を述べた文章として最も適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。

- (1) 地すべりは、重力によって滑動することから、斜面の勾配が大きいほど発生しやすい。
- (2) 活発に活動中の地すべり移動体は、その周辺の斜面に比べ、谷密度が低い。
- (3) 地すべり地は、古来より水田や畑など、住宅以外の用途のみで利用されてきた。
- (4) 地すべり移動体内には、地下水系の発達により凹地が形成される。

問 3. 国土地理院は、2025年4月1日に電子基準点・水準点等の標高成果について衛星測位を基盤とする「測地成果2024」に改定した。選択肢（1）～（4）の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- (1) 衛星測位による標高計測は、地球重心からの幾何学的位置関係を計測するため、東京湾平均海面と一致する回転楕円体面を0mとした標高値となる。
- (2) 衛星測位による標高計測は、これまで独自の平均海面を用いていた離島でも全国統一の高さの基準となった。
- (3) 衛星測位による標高計測は、短時間で広域に実施できるため、標高成果の時点を全国一律に揃えることが可能となった。
- (4) 衛星測位による標高計測は、水平位置を同時に計測できるため、「測地成果2024」では基準点の水平位置も改定された。

問 4. 土砂災害と地形との関係についての説明として最も不適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。

- (1) 土石流は豪雨時に発生するが地震動では発生しない。
- (2) 地すべり発生危険斜面把握の際に、地すべり地形をなす箇所が注目されるのは、再活動性があることによる。
- (3) 谷型斜面は尾根型斜面に比べて、豪雨による崩壊が発生することが多い。
- (4) 大規模地すべりは、降雨・融雪だけでなく地震によっても発生しやすい。

問 5. 感潮河川の説明として最も不適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。

- (1) 感潮河川では、河道内に粘土等の細粒物質の堆積が進み、洪水が発生しやすくなることがある。
- (2) 潮汐により河川の河口から上流側に塩分濃度 0.5%以上 の塩水が遡上する区間を、感潮区間または感潮域という。
- (3) 感潮河川の近傍の沖積低地では、地下水の塩水化が問題になることがある。
- (4) 国土地理院の地形図では、感潮河川に関する地図記号は、現在の図式には採用されていない。

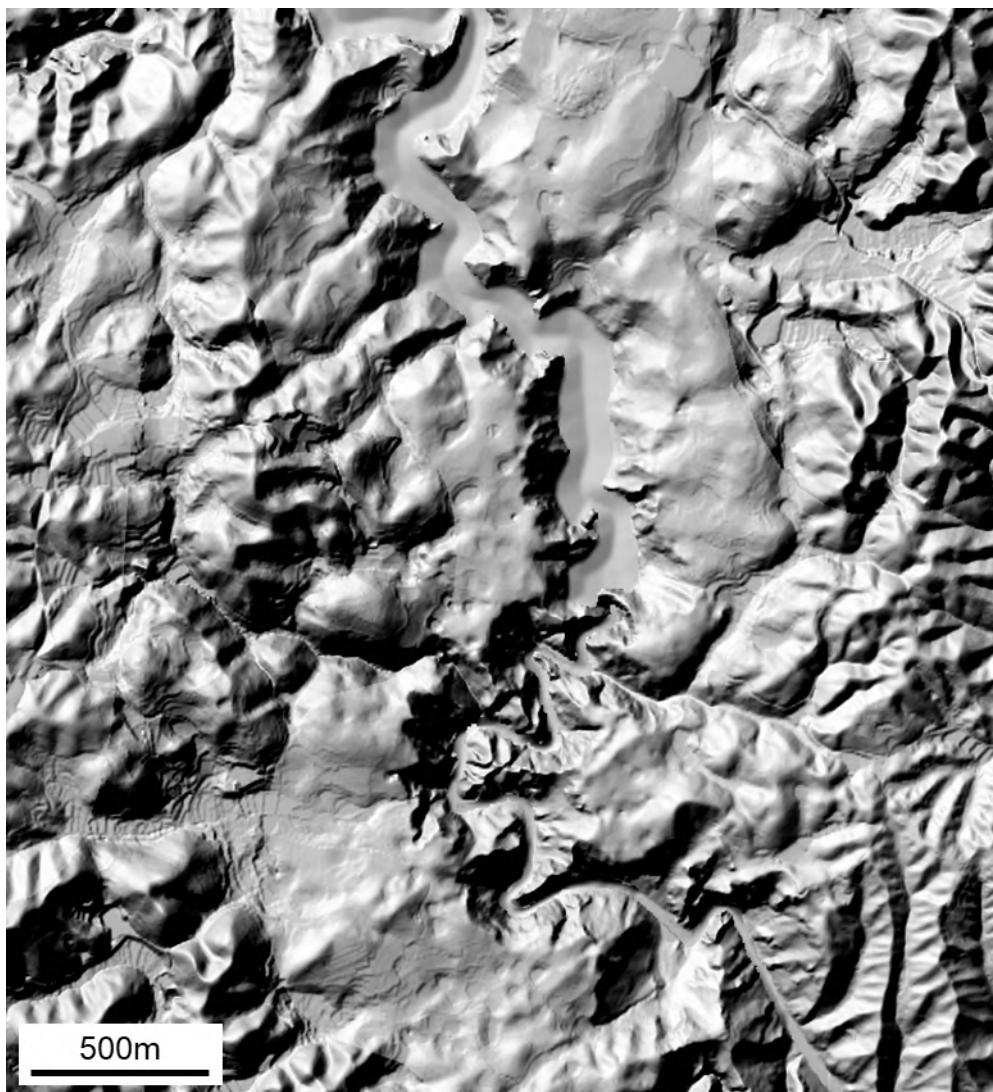
問 6. 日本付近の広域応力場の説明として最も不適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。

- (1) 東北地方の太平洋沿岸はすべて圧縮応力場である。
- (2) 断層の変位方向は広域応力場と関係している。
- (3) 近畿地方の広域応力場は第四紀中期に大きく変化している。
- (4) 九州中央部には引張応力場が存在する。

問 7. ラビーンメント面の説明として最も不適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から、選びなさい。

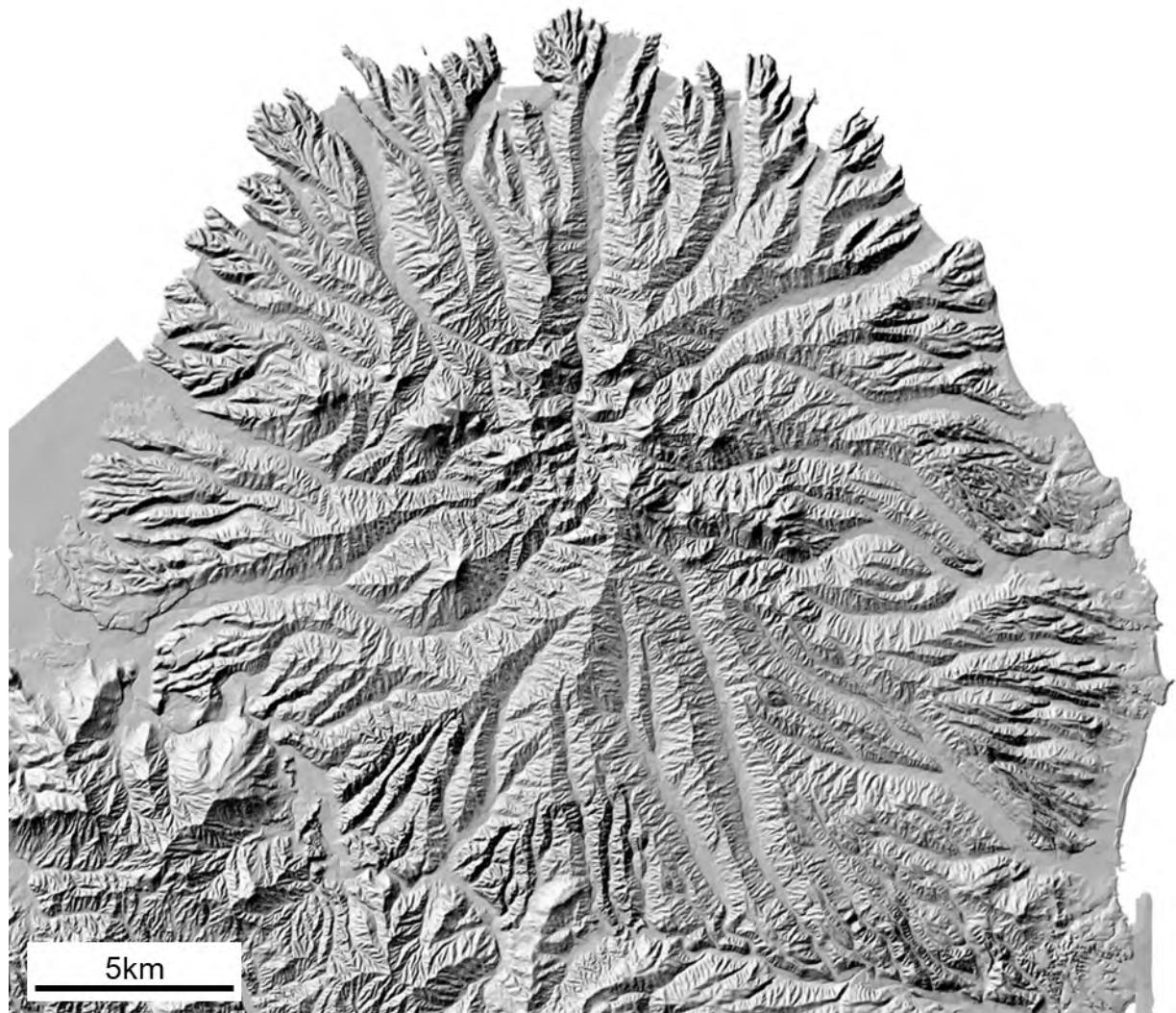
- (1) 海進期に形成される。
- (2) 一般に堆積の時間間隙を示す。
- (3) 陸上または浅海底で形成される。
- (4) 同一のラビーンメント面上の堆積物は、陸側よりも沖側の方が古い。

問 8. 下の陰影図に示した地域には、南北に河川が流れダムが建設されており、ダム湖の周辺には、なだらかな地形が認められる。このなだらかな地形の成因として最も適切なものを、選択肢(1)～(4)の中から選びなさい。



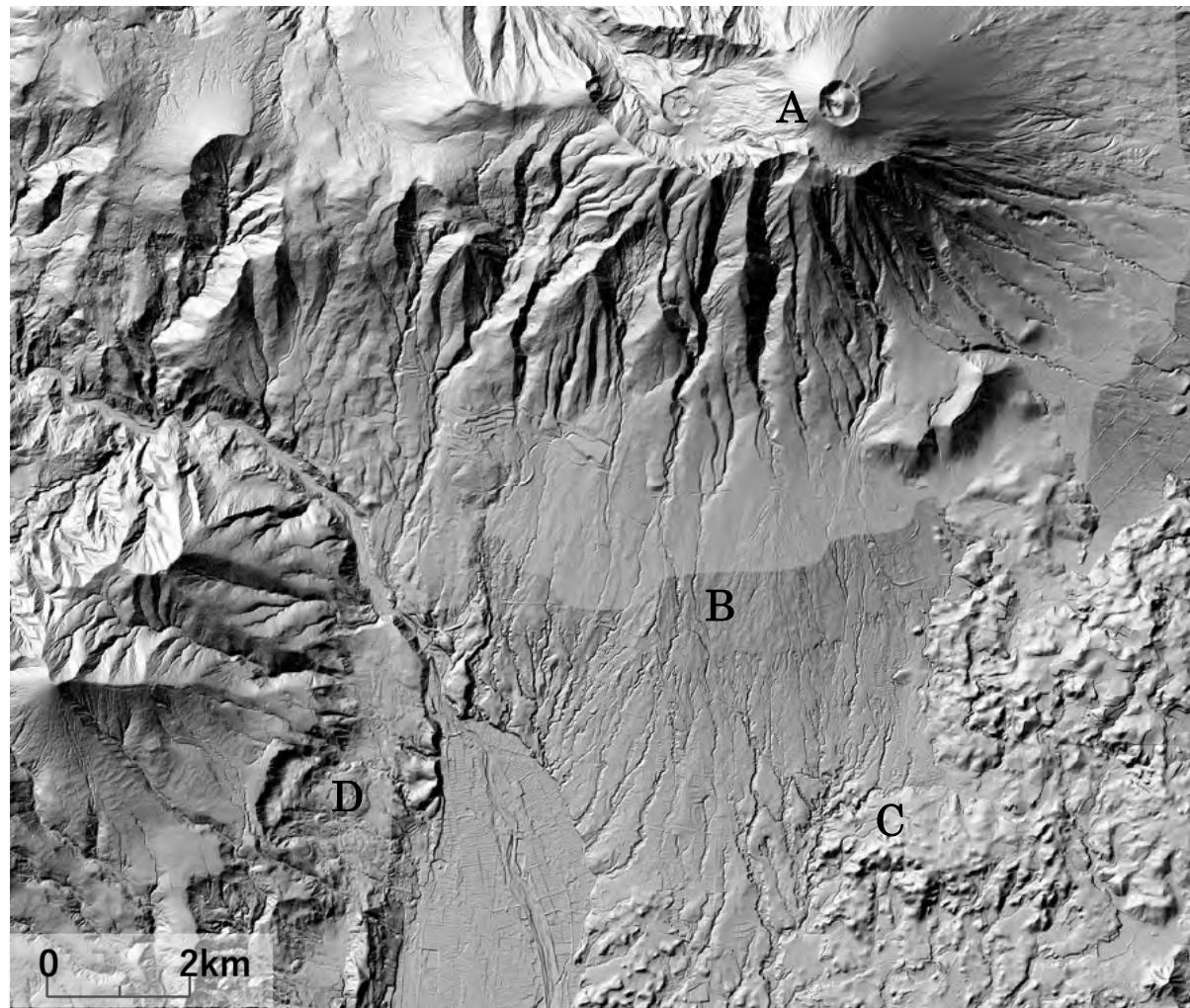
- (1) 溶岩の流下
- (2) 蛇紋岩地域の地すべり
- (3) 石灰岩の溶食作用
- (4) 周氷河作用

問9. 下の陰影図が示す範囲を構成する主要な地質として最も可能性が高いものを、選択肢(1)～(4)の中から選びなさい。



- (1) 花崗岩
- (2) 安山岩
- (3) 砂岩
- (4) 結晶片岩

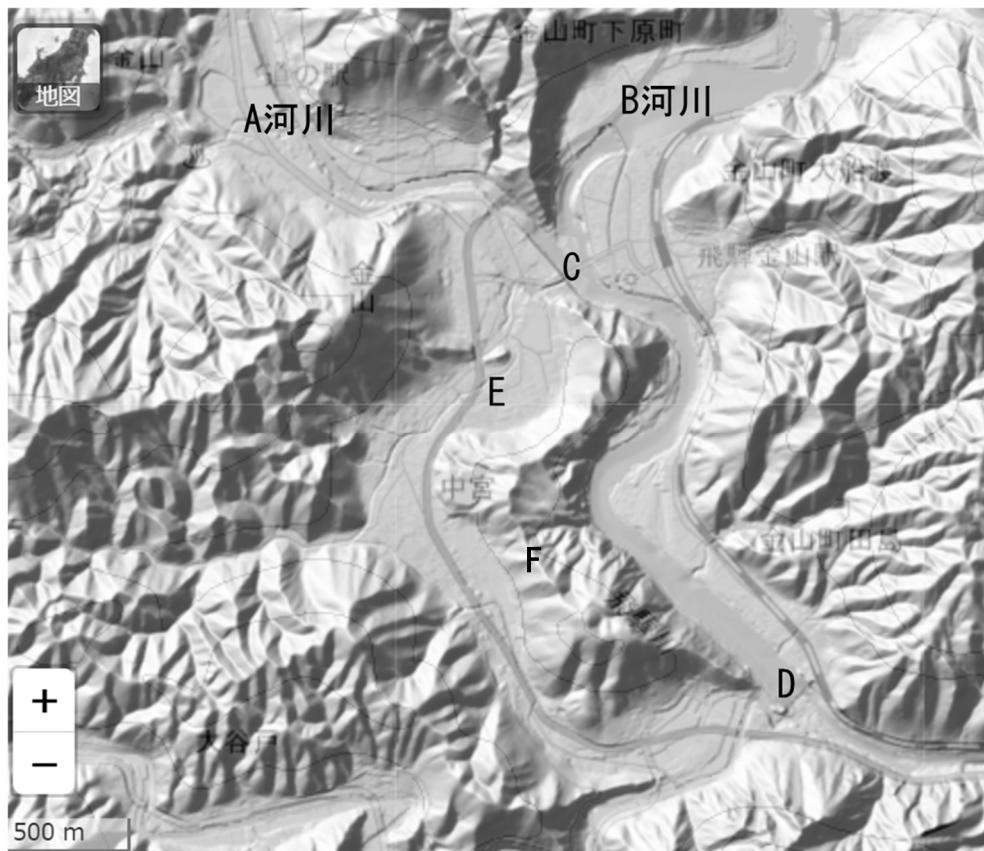
問10. 下の図は、陰影起伏図で表した火山体上部とその南側周辺の地形である。図中、A～Dに示す箇所にあてはまる地形として最も適切な語句の組み合わせを、選択肢(1)～(4)の中から選びなさい。



選択肢	A	B	C	D
(1)	複式火山の火口	火碎流地形	溶岩流地形	崖錐
(2)	単成火山の火口	火山麓扇状地	溶岩流地形	地すべり地形
(3)	単成火山の火口	火碎流地形	岩屑なだれ地形	崖錐
(4)	複式火山の火口	火山麓扇状地	岩屑なだれ地形	地すべり地形

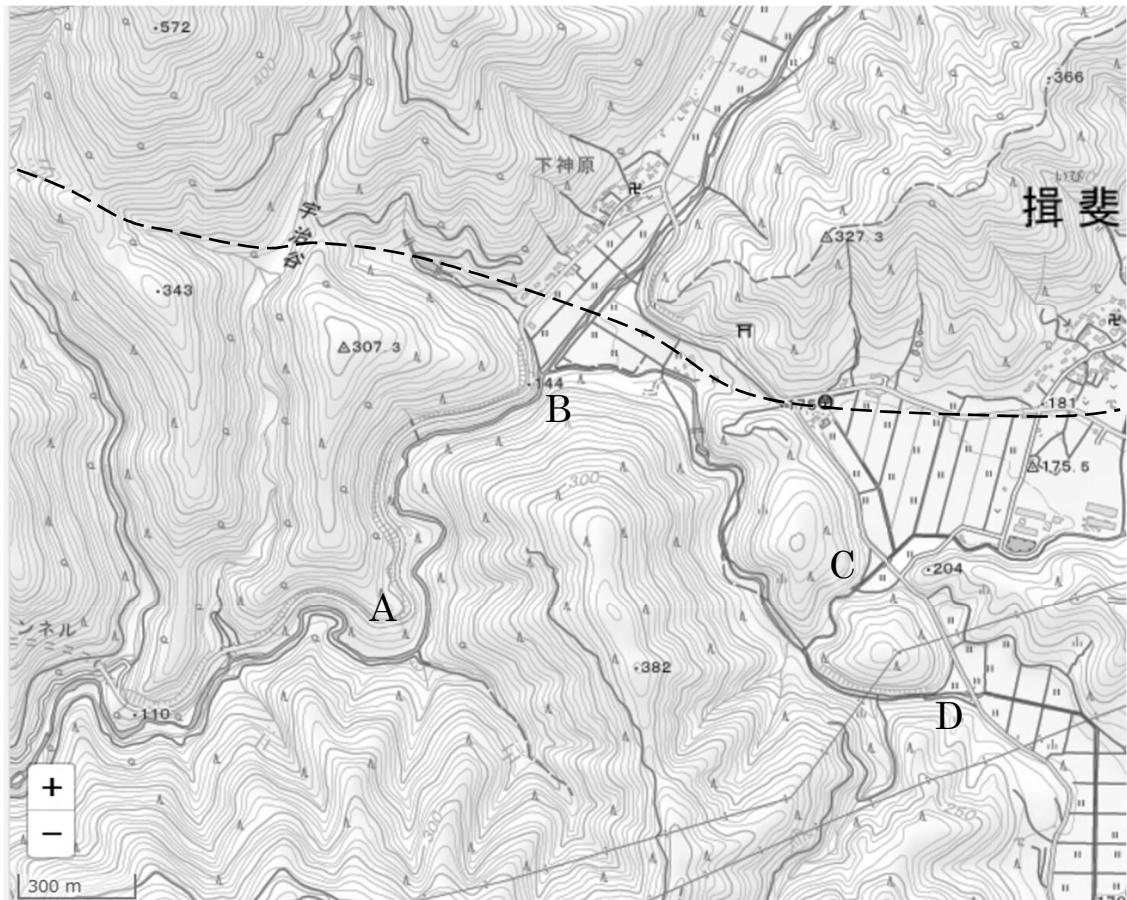
問11. 下の陰影地形図の河川に関する説明文の a ~ d にあてはまる最も適切な語句の組み合わせを、選択肢 (1) ~ (4) の中から選びなさい。

A 河川はかつて E 地点を通る国道沿いを流れ D 地点で (a) 蛇行する B 河川と合流していたが、その後両河川の (b) が C 地点にあった分水界の尾根を侵食・切断したため、C 地点で B 河川と合流するようになったと考えられる。このような場合、過去の流路 E を (c) といい、孤立丘 F を (d) という。



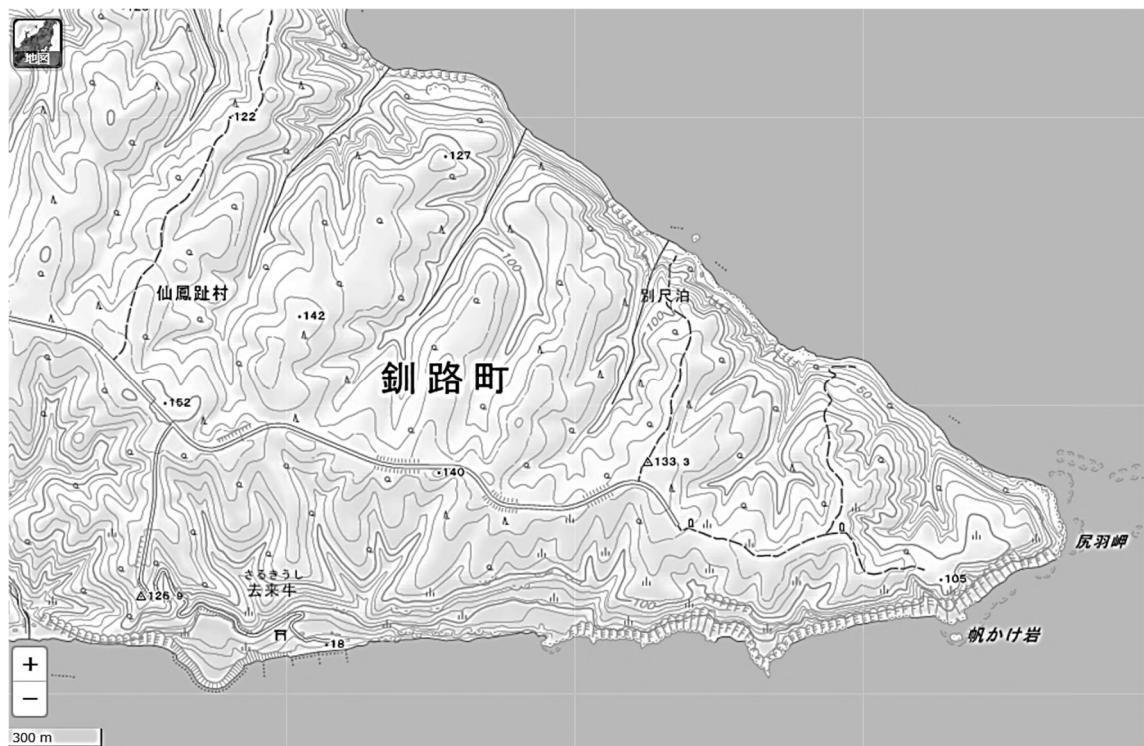
選択肢	a	b	c	d
(1)	自由	攻撃部	流路跡地	還流丘陵
(2)	自由	滑走部	欠床谷	貫通丘陵
(3)	穿入	攻撃部	流路跡地	貫通丘陵
(4)	穿入	滑走部	欠床谷	還流丘陵

問12. 下に示す地形図の説明として最も不適切なものを、選択肢(1)～(4)の中から選びなさい。



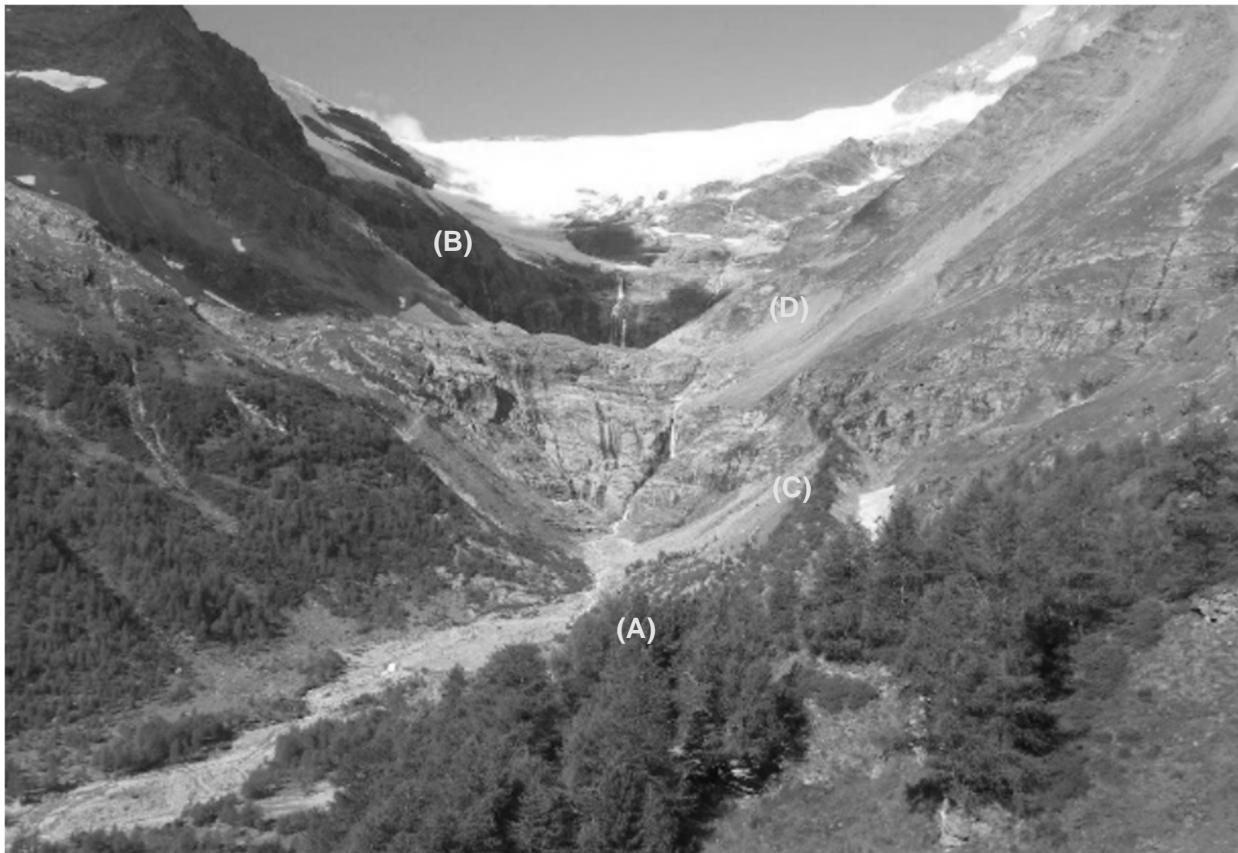
- (1) A河川の峡谷部の蛇行は穿入蛇行に分類される。
- (2) 図中の破線はリニアメントを示したものである。
- (3) C地点では河川争奪が発生したと考えられる。
- (4) 河川のB,C,D地点は遷緩点になっている。

問13. 下の図に示す地形図から読図できることとして最も不適切なものを、選択肢(1)～(4)の中から選びなさい。



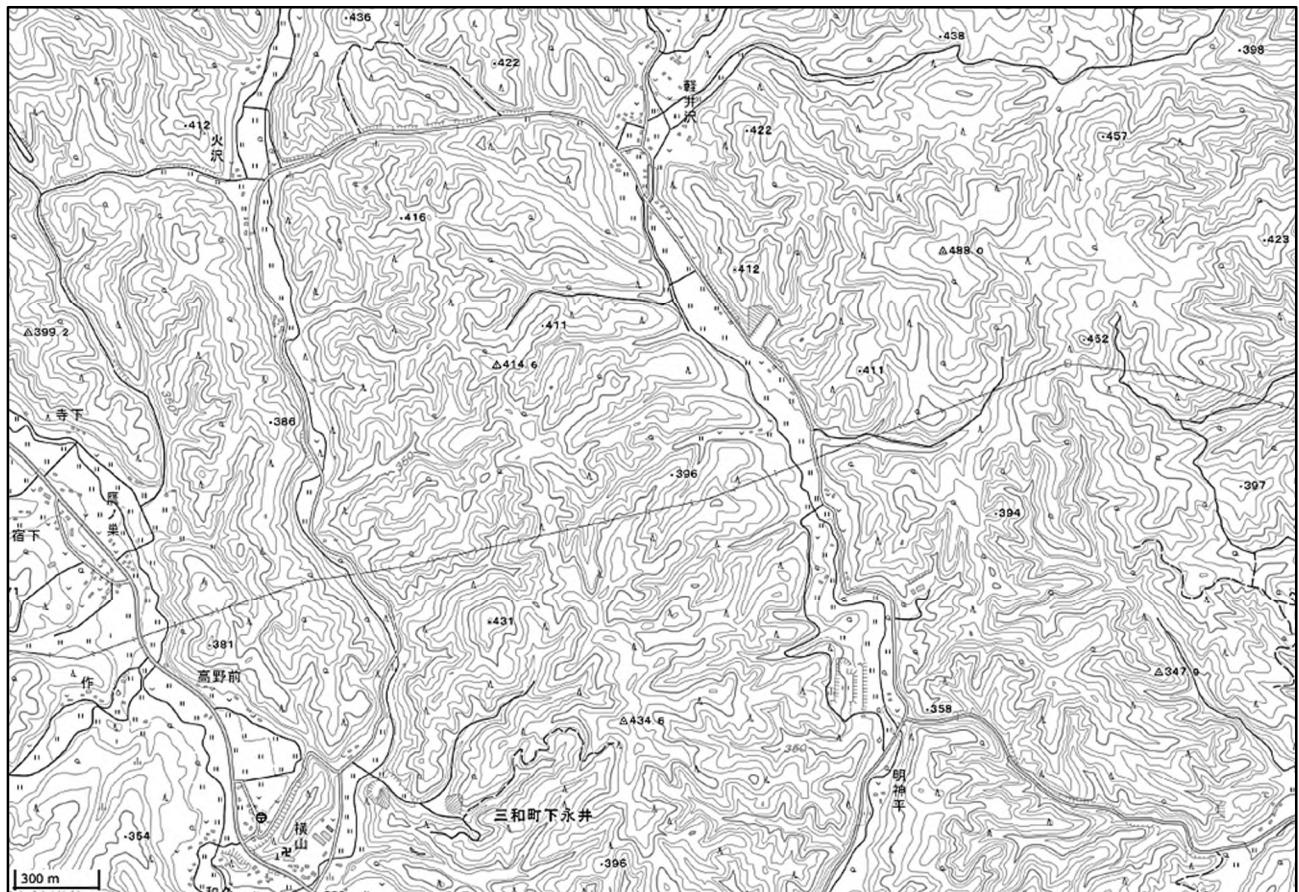
- (1) 南海岸の海食崖には岩盤が露出し、高さは 50m 以上におよぶ。
- (2) 北東海岸より南海岸の方が侵食作用は活発である。
- (3) 南海岸には最終氷期に発生した地すべり地形が数か所存在する。
- (4) 小溪流の多くは海岸付近で滝や急流で海にそいでいる。

問14. 下の写真は、スイスアルプスの一画を夏季に撮影したものである。その地形の説明として最も不適切なものを、選択肢 (1) ~ (4) の中から選びなさい。



- (1) 森林におおわれた斜面(A)は、完新世に氷河が覆ったことはないと考えられる。
- (2) 露岩の斜面(B)はカール地形の一部で、かつて氷河が覆っていたと考えられる。
- (3) 左右で植生が異なる稜線(C)は氷河の脇に土砂が堆積したモレーンである。
- (4) 左岸のやや薄色の斜面(D)は完新世の崖錐である。

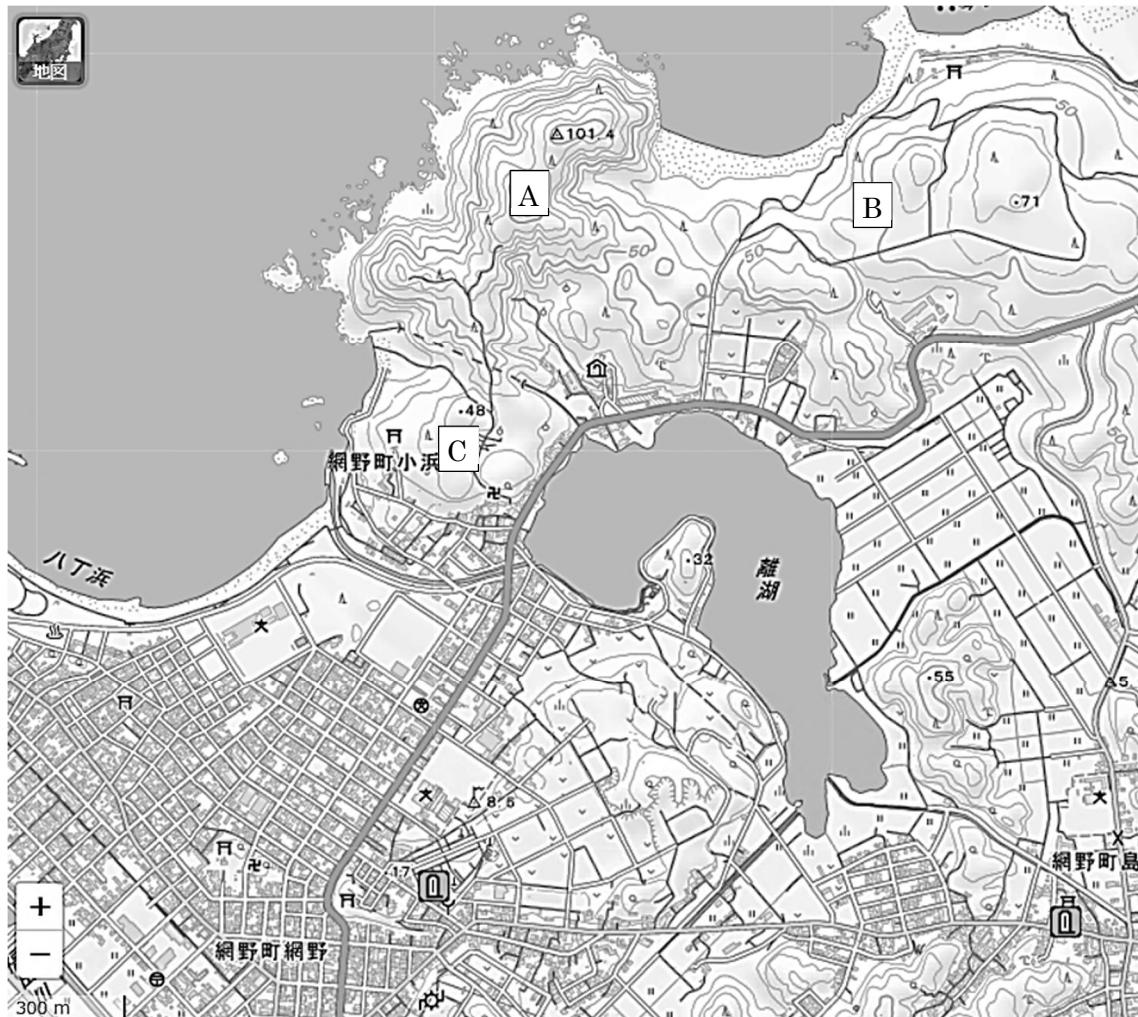
問15. 下の地形図から判読できる定高性のある小起伏山地の成因として、最も適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。



- (1) 地すべりが繰り返し発生してできた山地であり、河道閉塞跡も見られる。
- (2) 古い火碎流台地が侵食されてできた山地である。
- (3) 長期的な侵食基準面の安定と、その後の隆起による河川の侵食の進行によってできた山地である。
- (4) 過去の高海水準の時期に海水が進入してできた谷底平野を有する山地である。

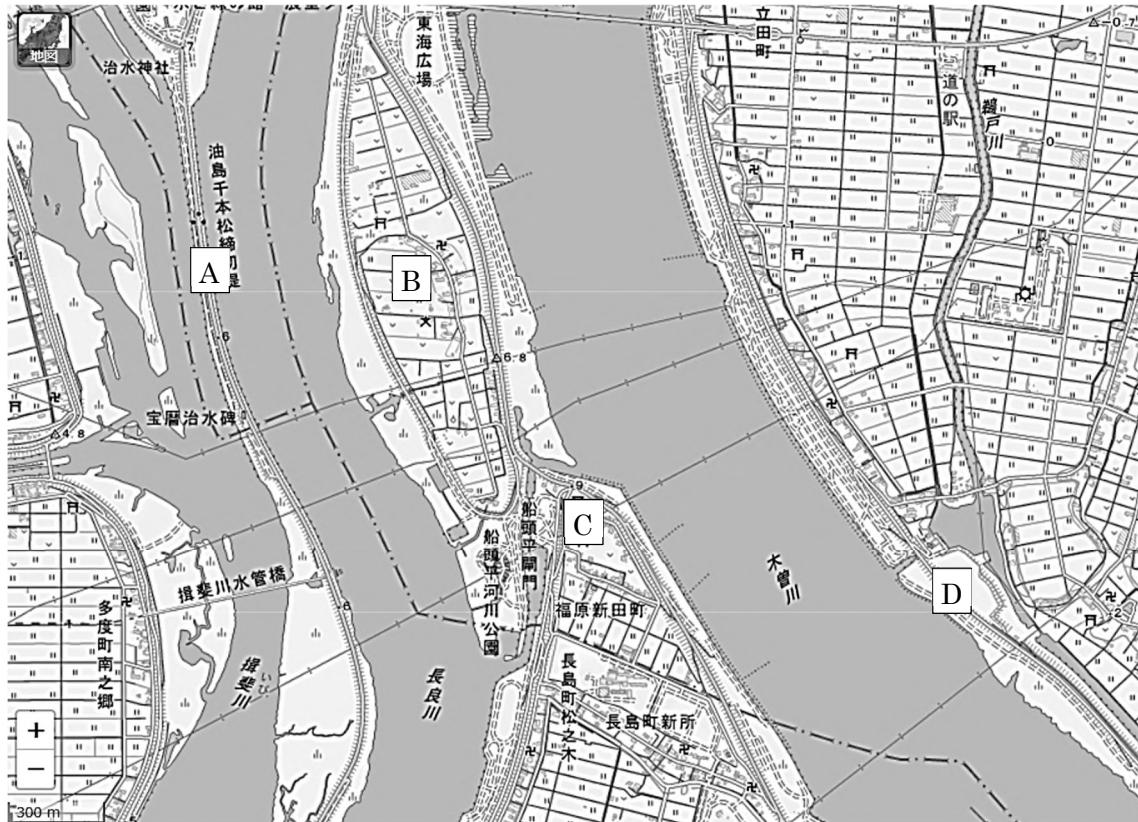
『学科試験-2』

問 16. 下に示す地形図から読図できることとして最も不適切なものを、選択肢 (1) ~ (4) の中から選びなさい。



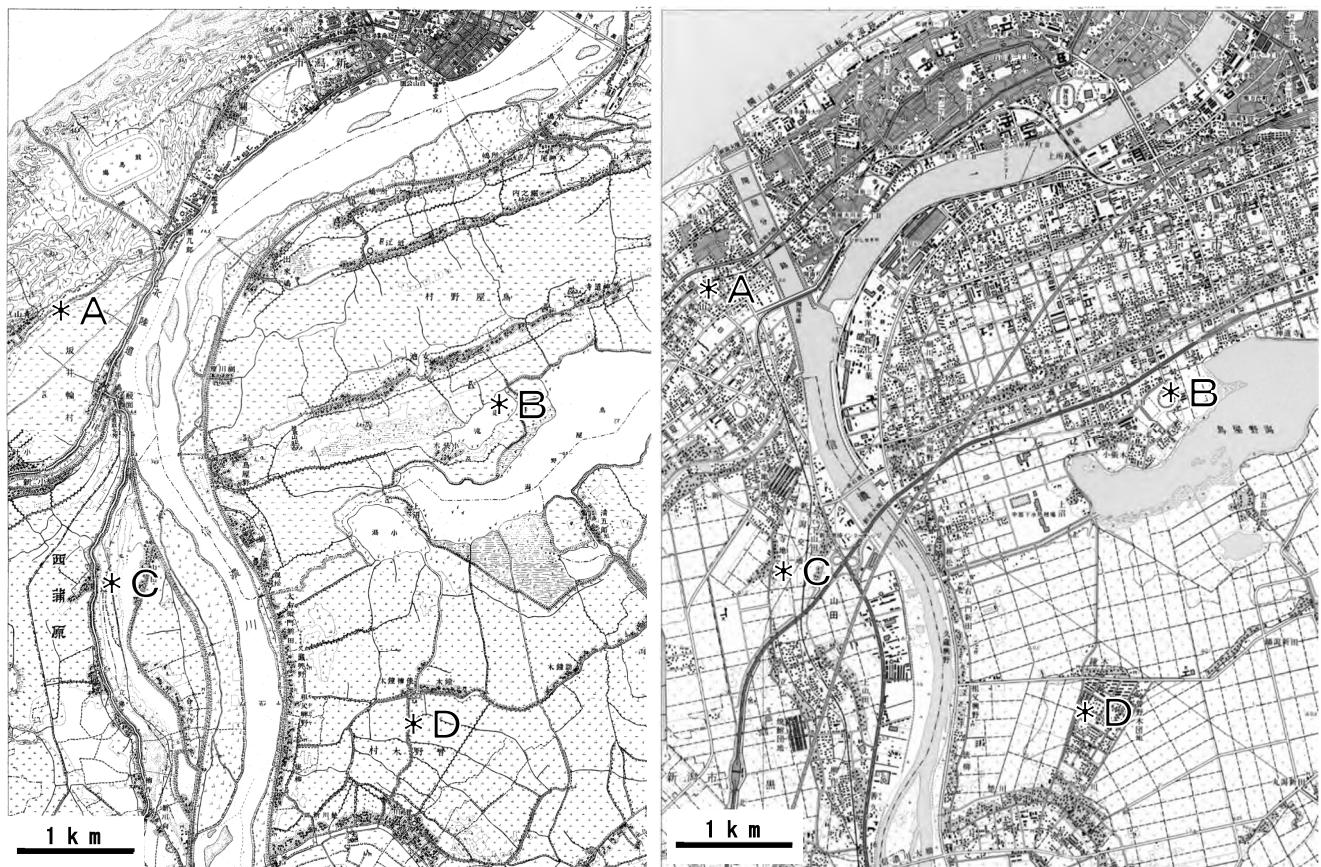
- (1) A の山は急斜面であることや多数の岩礁があることから、硬質な地質が分布する。
- (2) B、C の小起伏丘陵は軟質で難透水性の地質が分布する。
- (3) 自然災害伝承碑が 2 か所にあり、この地域では過去に顕著な災害があった。
- (4) かつて入江であった離湖には海につながる小河川と排水トンネルがある。

問17. 下に示す地形図から読図できることとして最も不適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。



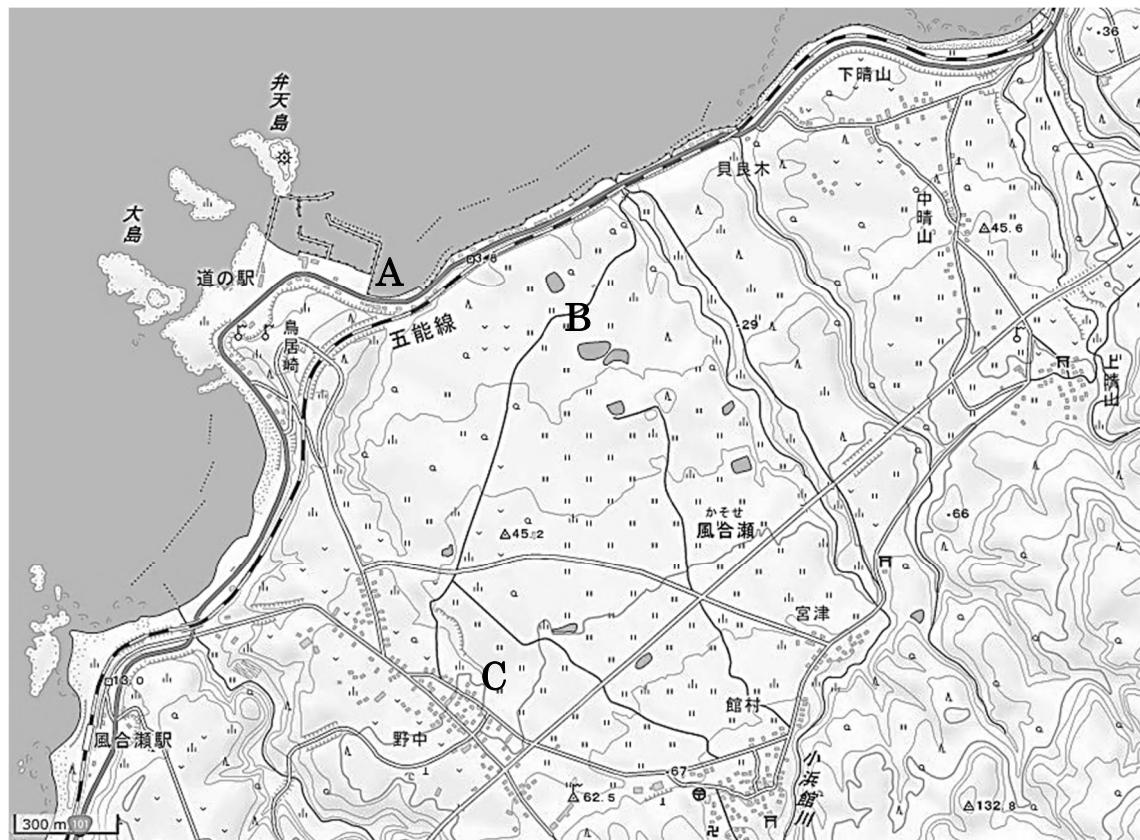
- (1) Aは背割堤と呼ばれる堤防で、合流点を水位差が無くなる位置まで導く役割がある。
- (2) Bの土地は堤防で囲まれた小規模な輪中である。
- (3) Cには両河川の水位差があるため通船用の閘門がある。
- (4) Dには灌漑用の取水樋門がある。

問 18. 下の 2 つの図は、同一箇所の新旧地形図である。図中に示す A～D 地点（＊の位置）において、最も液状化がしにくいと考えられる地点を、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。



- (1) A
- (2) B
- (3) C
- (4) D

問19. 下の地形図から、この地域（本州日本海側）に近い海底活断層に沿って、この地形の形成に関係したような大地震が発生した場合に、A 地点周辺で想定される災害現象として最も適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。



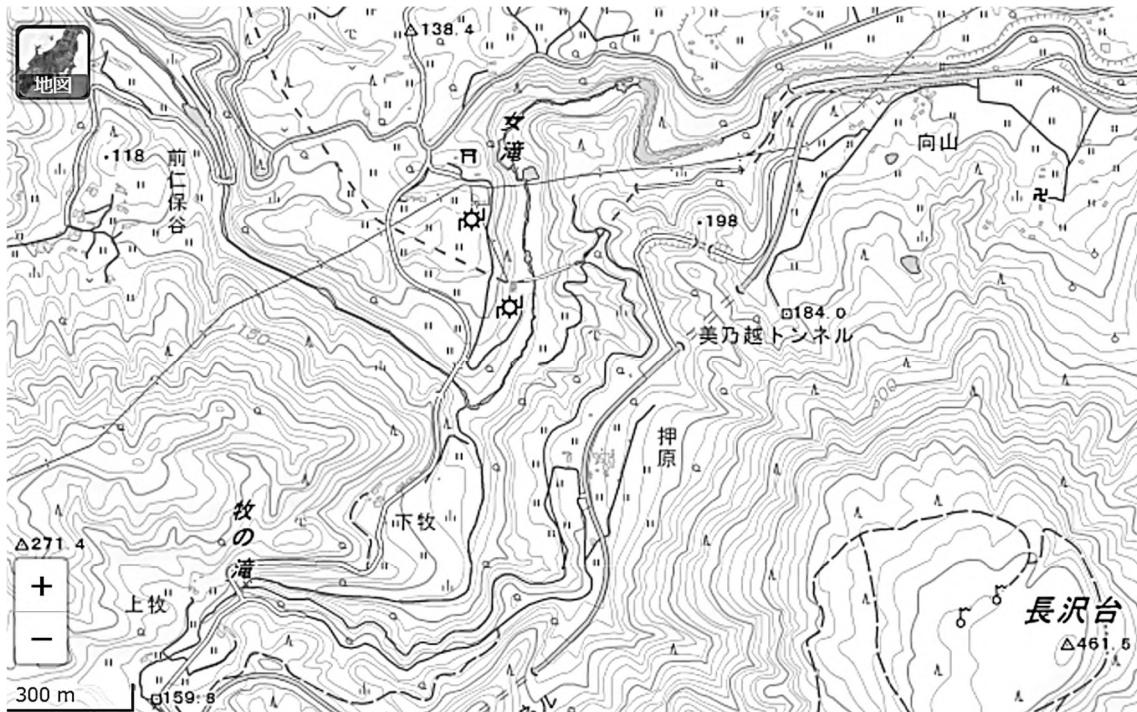
- (1) B 地点周辺に池がいくつか見られることから、地下水位が高く、液状化が多く生じる。
- (2) 津波が 30m まで遡上したとき、国道は浸水するが鉄道は浸水しない。
- (3) 沿岸海域が離水し、港が使えなくなる。
- (4) C 地点付近から A に延びる深い谷に沿って土石流が発生し、国道・鉄道が寸断される。

問 20. 下に示す地形図は、山間部にある河成低地の地形を、等高線（主曲線・補助曲線）および急傾斜部を濃い灰色で表した傾斜量図、土崖記号（盛土部を含む）と標高を表す記号で表現したものである。A～G 地点の説明として最も不適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。



- (1) A 地点から F 地点に至る河川の流路勾配は 1/1000 よりも急勾配であり、谷底低地の表層部は礫優勢の堆積物からなると推定される。
- (2) B、C、D、E、F 地点に見られる霞堤は、洪水流の一部を堤内に建設された調整池に貯留させる機能がある。
- (3) G 地点に認められる掘割りが掘削されているのは、A～C に至る河川の右岸沿いの低地との比高が約 10m ある段丘面上である。
- (4) 右岸側堤防は、C 地点付近で河川敷からの比高が 5m 程度である。

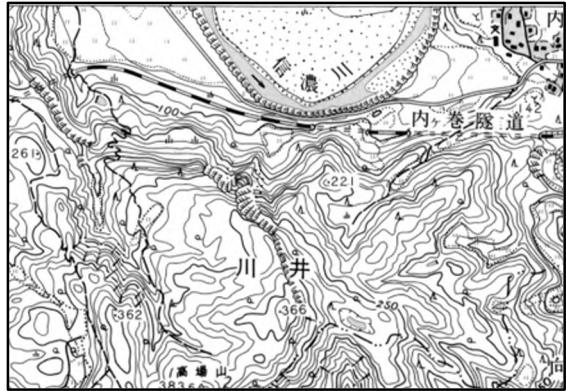
問 21. 下に示す地形図から読図できることとして最も不適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。



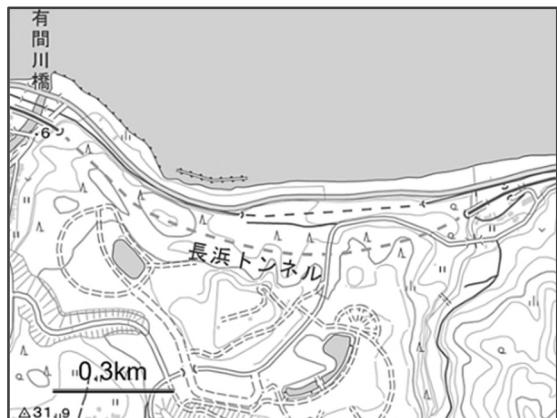
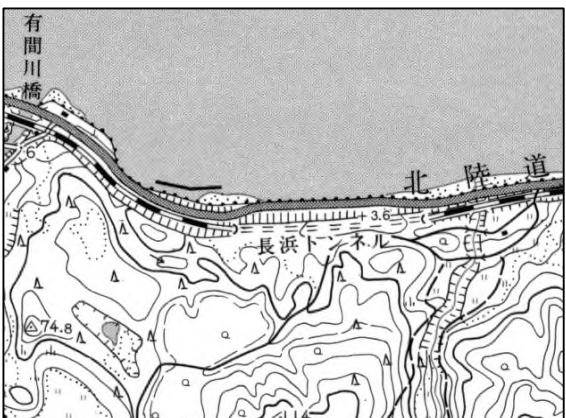
- (1) 発電用の取水箇所は 2 地点とも河川の遷急点付近にある。
- (2) 送電鉄塔は 5 本以上確認できる。
- (3) 発電所への水路はサイフォンで河川を横切っている。
- (4) 女滝の上流は峡谷をなし河床付近は岩盤が露出する。

問 22. 下の図に示す、次の各区間の鉄道トンネルは、いずれもあるハザードを回避するため開業以来の路線（左側の地図）を放棄してトンネルを掘削し新ルート（右側の地図）とした。  
回避されたハザードとして最も適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。

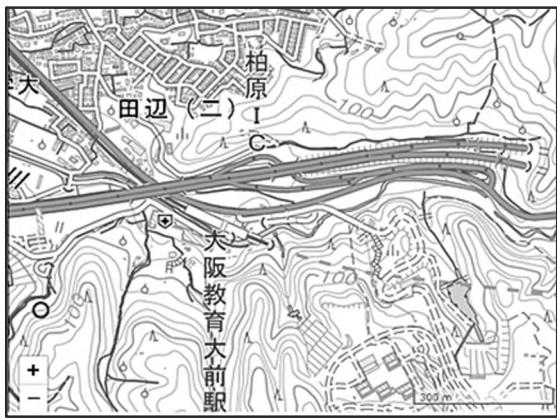
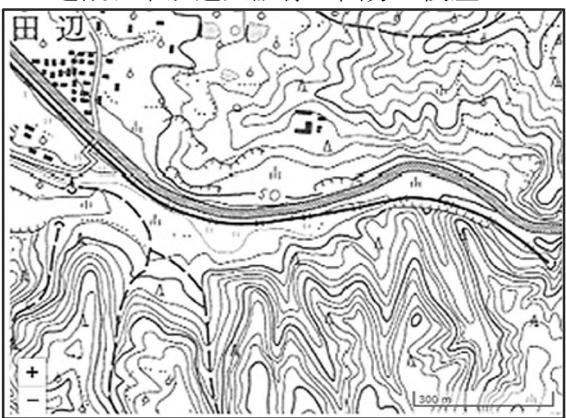
・ JR 東日本飯山線：越後岩沢～内ヶ巻



・えちごトキめき鉄道（JR 貨物北陸）：有間川～谷浜



・近畿日本鉄道大阪線：国分～関屋



(1) 地すべり

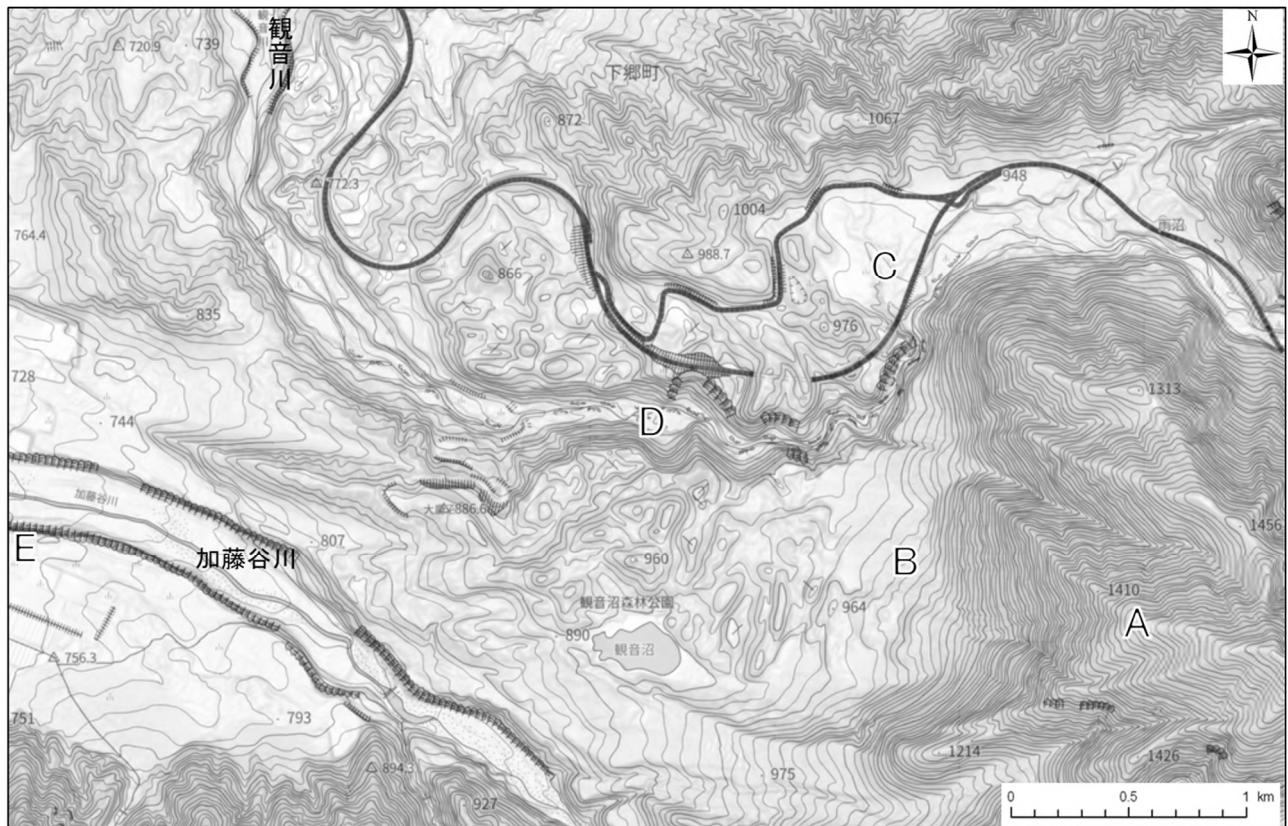
(2) 海岸侵食・河岸侵食

(3) 土石流

(4) 表層崩壊

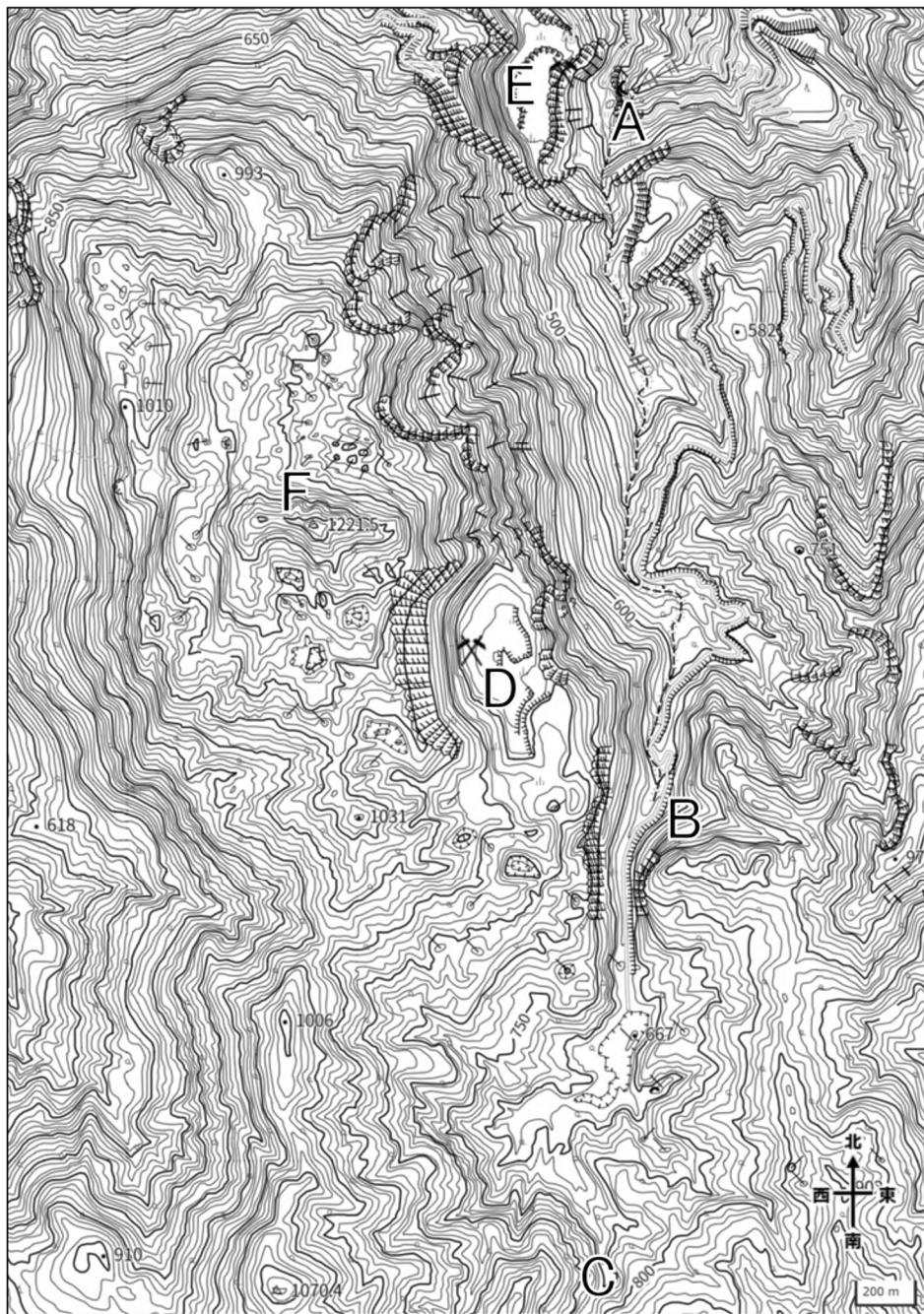
問 23. 下に示す地形図は、尾根上の A 地点より西側の斜面で大規模崩壊が発生し、岩屑なだれの堆積物が堆積した地形を等高線と急傾斜部を濃い灰色で表した傾斜量図で示したものである。

地形図の説明として最も不適切なものを、選択肢 (1) ~ (4) の中から選びなさい。



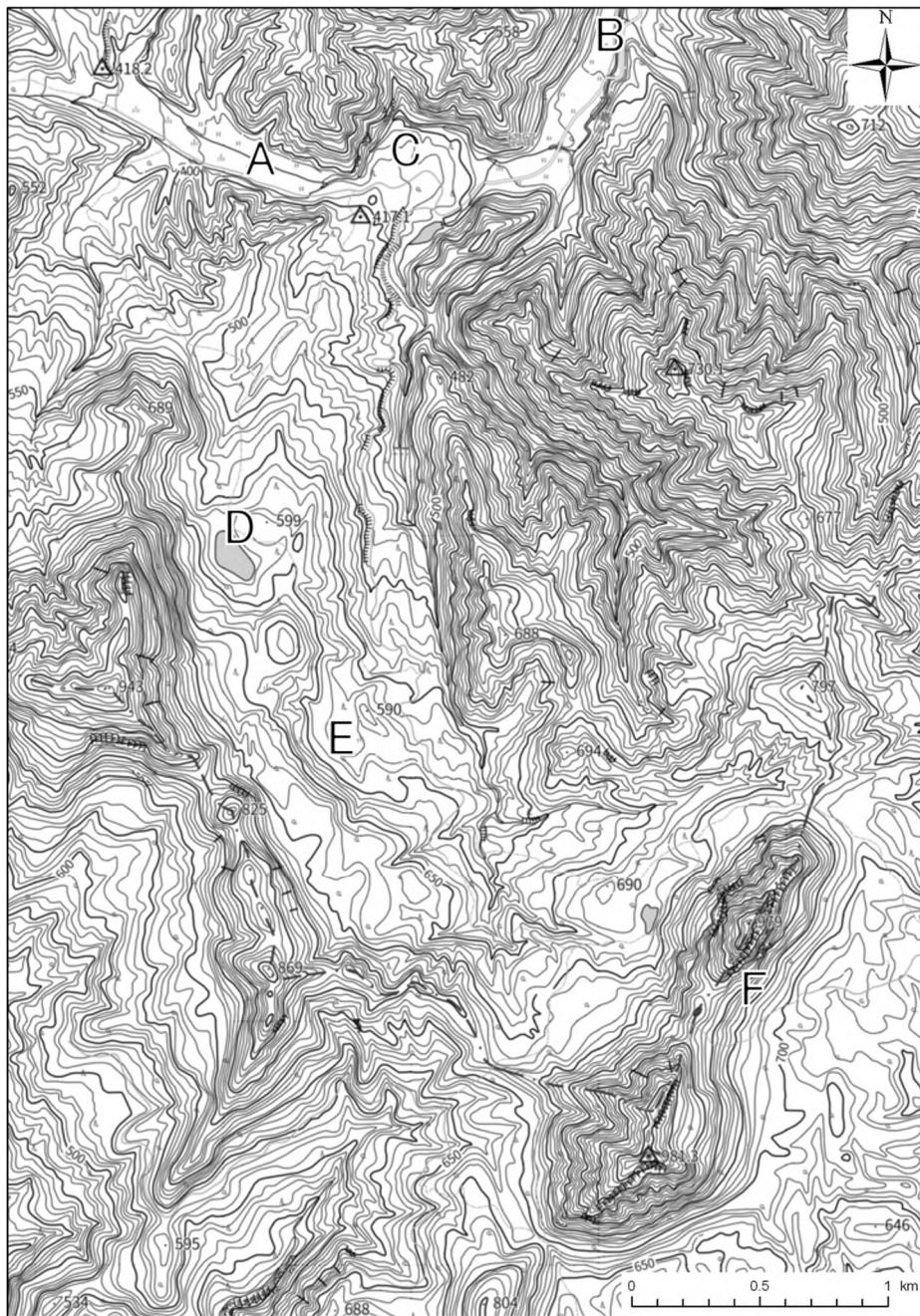
- (1) B 地点の周囲の緩傾斜面では、岩屑なだれの堆積物の表面が、その後に発生した崩壊堆積物や土石流による沖積錐などによって覆われていると考えられる。
- (2) C 地点付近およびその上流側に見られる低平な谷底低地は、岩屑なだれの堆積物によって生じた河道閉塞の上流側に堆積した堆積物によって形成されたと考えられる。
- (3) D 地点付近の谷壁に岩崖記号を伴う河道は、岩屑なだれの堆積物が堆積した後に、現在の観音川の侵食作用により形成された。
- (4) 大規模崩壊による岩屑なだれの大部分は加藤谷川沿いに流下し、地点 E まで厚く堆積した。

問 24. 下に示す地形図の説明として最も不適切なものを、選択肢 (1) ~ (4) の中から選びなさい。



- (1) 図中の河川の A～B 区間の左岸は斜面上部からの崩壊堆積物や壁岩部からの落石で形成された崖錐が河床付近まで分布すると考えられる。
- (2) C 地点から B 地点に至る谷は、標高点 667m 付近で下流側が比高 10m 以上高くなる逆向きの勾配を持つ区間がある。
- (3) D および E 地点の岩崖記号や土崖記号などを伴う平坦地は採石場と考えられる。
- (4) F 地点の三角点 1221.5m がある峰は溶岩円頂丘からなり、周囲には噴気孔ないしは噴石の着弾によって形成された凹地が点在する。

問 25. 下に示す地形図の説明として最も不適切なものを、選択肢（1）～（4）の中から選びなさい。



- (1) A 地点から B 地点に至る谷において、C 地点の河道の狭窄部は、D 地点の池付近を噴出源として流下した溶岩流によって形成された。
- (2) A 地点の谷底堆積物の表層付近には、細粒な砂や泥などが含まれている可能性がある。
- (3) E 地点の南西側の急崖と北東側の標高点 590m のある小丘は、北流する河川で末端が侵食された地すべりによって形成された地形である。
- (4) F 地点の谷密度の低い急斜面は、崖錐などの崩落物質によって覆われていると考えられる。

## 『学科試験-3』

次を参考として、各設問に示した説明文に対する用語を解答しなさい。

問\*. 扇状地、氾濫原、三角州に形成された微高地で、集落や畠として土地利用され、洪水に対して比較的安全であるが浸水することもある。

解答：自然堤防

- 問 26. 膨潤性の粘土鉱物を多く含む砂岩や頁岩が、吸水と乾燥を繰り返すことで細片化する現象の名称。
- 問 27. 海食崖の基部に発達する、露岩からなる平滑な地形。一般に潮間帯付近に形成され、ほぼ水平かわずかに海側に傾き、その沖側末端には小崖が存在する。
- 問 28. 応力場の変化などにより断層の運動方向がこれまでとは反対の方向に変化し、新たな地質構造を形成すること。
- 問 29. 陸地と陸地に近い沖合の島との間が砂や礫によって陸続きになった細長い堆積地形。
- 問 30. 数値で表現された年代を直接求める方法の総称。